

Title	共同研究：能の演出史研究（1）
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2000, 3, p. 111-113
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/97574
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

■ 共同研究 ■

能の演出史研究 (1)

ここに「共同研究」として掲載するものは、平成二年度から平成十一年度までの十年間、大阪大学の文学部と大学院の合同の演習（担当…天野文雄）で行ってきた能の演出史研究についての成果の一部である。この演習は、延宝八年（一六八〇）没の京都の能謡の数奇者（素人）にして小鼓を専門としていた関三与なる人物の編纂になる能の型付（演出メモ）で、ワキ方高安流の岡次郎右衛門家や宮内庁書陵部に伝わった『観世流仕舞付』（五冊が伝存）を中心に、室町期から現代にいたる一曲ごとの演出の変遷をあとづけることを目的にしたものであったが、平成十一年度をもって、同書所収の一四〇曲すべてについての検討が終了した。検討に要した時間はちょうど十年、演習に参加して報告を行った学生・院生・学部生・研究生・聴講生は四十一人におよぶ。報告は、関連する資料が各時代に比較的豊富に紹介されているというめぐりあわせもあって、学部生・院生などの別なく、どの報告も充実していて、演出史的に貴重な発見が少なくなかった。その間、この演習

で得た知見をもとに、天野が平成八年に、「近世初期京都能楽界の動向―岡家等蔵『観世流仕舞付』に所見の役者と数奇者をめぐって―」（野村美術館紀要 5号）を、平成九年に、「関三与―追考―近世初期京都の能の数奇者の横顔―」（野村美術館紀要 6号）を発表して、その編者が関三与なる人物であることや、関三与をめぐる近世初期の京都能楽界の状況を報告しているが、演習の発表における新見は、いくつかは論文化されたものの、ほとんどは学界に報告される機会のないまま、『観世流仕舞付』を中心にした演習の終了を迎えた。演習の成果は、演習の参加者それぞれが、それを自身の研究に生かしてゆけばよいことなのであるが、毎回のように新見に接するたびに、できることならば、あるていどまとまった形で学界に報告したいと思っていたところ、さいわい二年前から刊行されるようになった『演劇学論叢』への掲載が可能となって、ここに年来の念願が実現することとなったのである。

もつとも、そうはいっても、演習での報告者の半数は多くが大学院には進学しない学部生であり、演習開始からはすでに十年もの時間が経過している。本来ならば、報告者全員に報告をしてもらいたいところであるが、社会に出て多忙なはずの卒業生が十年ちかくも前の報告をまとめるのは、現実的にはまず無理であろう。そこで、まず手はじめに、この二、三年の演習の参加者に執筆を呼びかけたところ、以下のような五本の論稿が寄せられた。対象となっている曲の多くが遠い曲なのは、それらが遠い曲ということと後回しになっていたためである。また、今回、この報告を「能の演出史研究（1）」としたのは、これを呼び水にして、二回、三回と報告を重ねてゆければという思いからであるが、あるいは、

あとが続かずに、これで終わりということになってしまふ可能性もないではない。すくなくとも、あと一回は掲載したいと思つてゐるのだが、どうであらうか。

なお、十年間の演習における報告の担当者と対象曲の一覧をかかげておく。平成七年度から扱われる曲が倍増しているのは、ひとえに指導者もふくめた演習参加者の能力がアップしたことによる。また、平成七年度からは他大学の院生が参加するようになり、その数は以後漸増している。また、この一覧にはふくまれていないが、昭和五十四年～五十五年の雑誌『金剛』に『観世流仕舞付』の存在を紹介された藤岡道子氏（聖母女学院短期大学助教）が平成十年度から演習に参加されていたことも付記しておきたい。

(平成12・12・10 天野文雄)

〔演習での対象曲と報告担当者〕

平成二年度

道成寺（小林英一・院生）
野宮（曾我れんげ・学部生）
葵上（曾我れんげ・学部生）
黒塚（福島香織・学部生）
舟弁慶（東精一・学部生）
西行桜（田口知恵子・院生）
谷行（藤田隆則・京大人文研 助手）
平成三年度
自然居士（小林英一・院生）
松風（石黒亜有美・学部生）

杜若（澤井万七美・院生）
安宅（東精一・学部生）
紅葉狩（高井真美・学部生）
鶴飼（中川桂・院生）
邯鄲（川本紀恵・学部生）
清経（中溝孝子・学部生）
楊貴妃（王冬蘭・院生）
平成四年度
桜川（川本紀恵・学部生）
海士（川本紀恵・学部生）
田村（中川桂・院生）
三輪（小林英一・院生）
山姥（正木ゆみ・院生）

龍田（西村文・学部生）
殺生石（春木卓伸・学部生）
花月（宮地由佳・聴講生）
平成五年度
関寺小町（春木卓伸・学部生）
昭君（川本紀恵・学部生）
八嶋（西村文・学部生）
天鼓（中川桂・院生）
放下僧（伊吹美保子・学部生）
班女（岩淵奈緒子・学部生）
鞍馬天狗（長田あかね・院生）
当麻（小林英一・院生）
熊野（正木ゆみ・院生）
平成六年度
百万（正木ゆみ・院生）
半部（宮地由佳・聴講生）
鉄輪（澤井万七美・院生）
大会（宮本圭造・院生）
鶴（中川桂・院生）
芦刈（伊吹美保子・学部生）
富士太鼓（岩淵奈緒子・学部生）
平成七年度
唐船（澤井万七美・院生）
隅田川（澤井万七美・院生）
千寿（澤井万七美・院生）
陀羅尼落葉（川崎佐知子・院生）
誓願時（川崎佐知子・院生）
景清（宮本圭造・院生）
松山鏡（中川桂・院生）

車僧（中川桂・院生）
巴（小林英一・助手）
葛城（大森澄子・学部生）
東岸居士（伊吹美保子・神戸女子大学院生）
船橋（伊吹美保子・神戸女子大学院生）
経政（米田真理・名古屋大学 院生）
頼政（尾西教彰・学部生）
忠度（佐々木雷太・学部生）
善界（竹内直子・学部生）
通小町（竹内直子・学部生）
羽衣（岡垣里美・学部生）
雲林院（岡垣里美・学部生）
花筐（宮地由佳・聴講生）
弱法師（宮本圭造・院生）
平成八年度
小塩（岡垣里美・学部生）
枕垣（宮本圭造・院生）
杖慈童（藤原知永子・院生）
玉葛（家ノ上さくら・院生）
三笑（中川桂・院生）
定家（岡垣里美・学部生）
二人静（竹内直子・学部生）
土蜘蛛（米田牧子・学部生）
酒天童子（藤原知永子・院生）
浮舟（家ノ上さくら・院生）
遊行柳（中谷友美・立命館大 院生）

学院生
柏崎(戸城三千代・立命館大
学院生)

清重(宮本圭造・院生)

妓王(竹内直子・学部生)

梅枝(中川桂・院生)

木賊(米田牧子・学部生)

雲雀山(田中美帆・大阪女子
大学院生)

大学院生)

敦盛(家ノ上さくら・院生)

夕顔(水口奈保子・大阪女子
大学院生)

大学院生)

平成九年度

俊寛(宮本圭造・院生)

春栄(家ノ上さくら・院生)

芭蕉(岡垣里美・学部生)

丹後物狂(田中美帆・大阪女
子大学院生)

子大学院生)

朝顔(水口奈保子・大阪女子
大学院生)

大学院生)

春日龍神(岡垣里美・学部生)

采女(戸城三千代・立命館大
学院生)

学院生)

葛城天狗(川島朋子・京都大
学院生)

学院生)

通盛(家ノ上さくら・院生)

東北(岡垣里美・学部生)

張良(佐々木雷太・研究生)

張良(小川佳世子・大手前女
子大学院生)

子大学院生)

歌占(戸城三千代・立命館大
学院生)

石橋(宮本圭造・院生)

艦(田中美帆・大阪女子大学
院生)

小督(中谷友美・立命館大学
院生)

鉢木(岡垣里美・学部生)

野守(家ノ上さくら・院生)

橋姫(中谷友美・院生)

関原与一(宮本圭造・院生)

満仲(團夕紀子・院生)

舍利(佐藤貴幸・学部生)

浜川(宮本圭造・院生)

仏原(小川佳世子・大手前女
子大学院生)

江口(中谷友美・院生)

実盛(家ノ上さくら・院生)

朝長(宮本圭造・院生)

海士(佐々木雷太・研究生)

蝉丸(團夕紀子・院生)

吉野静(中谷友美・院生)

兼平(家ノ上さくら・院生)

項羽(小川佳世子・大手前女
子大学院生)

正尊(佐藤貴幸・学部生)

知章(家ノ上さくら・院生)

鸚鵡小町(川島朋子・京都大
学院生)

学院生)

卷絹(中谷友美・院生)

盛久(佐藤裕子・神戸女子大
学院生)

平成十一年度

三井寺(中谷友美・院生)

鍾馗(團夕紀子・院生)

籠太鼓(佐藤貴幸・学部生)

藤永(伊吹美保子・神戸女子
大学院生)

維盛(小川佳世子・大手前女
子大学院生)

卒都婆小町(家ノ上さくら・
院生)

姥捨(佐藤裕子・神戸女子大
学院生)

七騎落(川島朋子・京都大学
院生)

土車(中谷友美・院生)

泣不動(家ノ上さくら・院生)

綱(佐藤貴幸・学部生)

俊成忠度(中嶋謙昌・京都大
学院生)

源氏供養(家ノ上さくら・院
生)

高野物狂(長田あかね・龍谷
大学院生)

千引(伊吹美保子・神戸女子
大学院生)

胡蝶(小川佳世子・大手前女
子大学院生)

学院生)

愛寿忠信(中谷友美・院生)

鈴木(佐藤貴幸・学部生)

豊干(天野文雄)

小野落葉(中嶋謙昌・京都大
学院生)

文寛(川島朋子・京都大学
院生)

正儀世守(中嶋謙昌・京都大
学院生)

隠岐物狂(伊吹美保子・神戸
女子大学院生)

露(宮本圭造・箕面市調査員)

六浦(宮本圭造・箕面市調査
員)